

【いじめ早期発見のためのチェックリスト】

《HR・部活動等》

- 落書きや破損箇所がある。
- 清掃ができていない。
- グループがあり、他を寄せ付けない独特な雰囲気がある。
- 黒板がきれいにされていない。

《いじめられている側》

- ふさぎこんでいる。
- クラス・部活動の雰囲気になじめていない。
- 成績が下がっている。
- 授業に集中できていない。
- 遅刻・早退・欠席が増えている。
- 保健室利用が多い。
- 休憩時間に教室外（廊下や中庭等）で1人でいることが多い。
- 発言をせず、目立たないようにしている。
- 班編成時に孤立している。
- 教員のそばにいたがる。
- 清掃時ゴミ捨て役に必ずなっている。
- 中傷の落書き・インターネットの書き込みがされている。
- 部活動をやめる。

《いじている側》

- 家庭のことで悩んでいる。
- 多くのストレスを抱えている。
- 教員がいる時といない時のギャップが大きい。
- 教員によって態度を変える。
- 教員の指導を素直に受け入れない。
- 他生徒に命令・指示を出す。
- 校則や一般のルールが守れない。

【教員再確認のためのチェックリスト】

- いじめに対し、常に鋭敏に観察しているか。
- 生徒の訴えを軽視せず、真剣に対応しているか。
- いじめの重大性を全教職員が共通認識し、校長を中心に協力体制がとられているか。
- 日常の教育活動において、教員と生徒、生徒間の好ましい人間関係の構築に努めているか。
- いじめを受けている生徒のことを第一に考えているか。
- 生徒の悩みを積極的に引き出せる環境が作られているか。
- 生徒だけでなく、保護者にも教育相談の案内がなされているか。
- 日常の教育活動、特にHR・学年集会でいじめに関する指導が行われているか。
- 学校行事・生徒会活動においても、いじめに関する適切な指導が行われているか。
- 学校生活の基盤である授業は、十分に準備がなされた充実した内容となっているか。
- いじめの問題について、PTAや学校評議員とも話し合う機会をもっているか。
- 学校と家庭の間に、いじめに関しての信頼関係が構築できているか。
- いじめに関して地域の関係機関と連携が取れているか。
- いじめは、どこでも、どんな生徒でも、あらゆる状況で起こりうるという認識をもっているか。